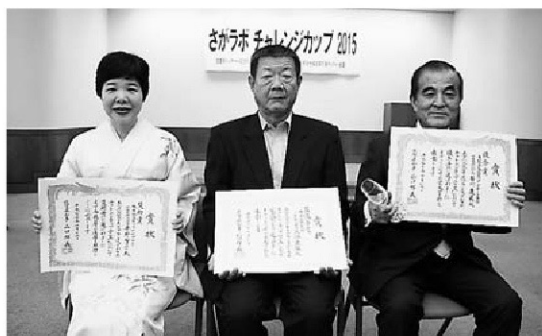


さがらポチャレンジカップ

佐賀県内の若手企業家などでつくる「県ベンチャー交流ネットワーク」主催のビジネスプランコンテスト「さがらポチャレンジカップ2015」で、佐賀市の炭化(入江康雄社長)が最優秀賞に輝いた。県特産の茶などを使って開発した鮮度保持剤と、鮮度保持システムの市場性や新規性が評価された。

同社は、竹と茶を使った鮮度保持剤と、県の発明特許の

炭化(佐賀市)最優秀賞  
竹と茶使い鮮度保持剤



酸化チタンによる光触媒を活用した鮮度保持システムを開発。他社製品に比べ、安価で高機能な点などが高い評価を受けた。

表彰式が16日、県庁で行われ、入江社長は「自社の技術が評価されて光栄。大手の通運会社採用されるなど、広がりを見せている」と喜びを語った。

コンテストには全国から34

さがらポチャレンジカップの受賞者、左からキャリアサプライの平野智子社長、炭化の入江康雄社長、佐賀タンボール商会の石川慶蔵社長、佐賀県庁

件の応募があり、事業の新規性や市場性、独創性を審査。受賞者は、販路開拓の支援やプロモーション動画の作成、

研究開発施設の優先利用などの特典が受けられる。優秀賞には有田焼や名尾和紙を使ったワイングラスを作った西松浦郡有田町の佐賀タンボール商会(石川慶蔵社長)が選ばれ、奨励賞にはSAG

A姫プロジェクトに取り組む佐賀市のキャリアサプライ(平野智子社長)が選ばれた。(諸岡佳紀)

